

「社会保障・税一体改革」をやめさせ、応能負担で社会保障の拡充を！

ほっかいどうの社会保障

2012年1月20日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:011-758-4666

世論と運動で「社会保障と税の一体改悪」を阻止しよう！

「今でも大変」年金者・消費者・中小業者から怒りの声



1月17日（火）、北海道社保協と消費税廃止道各界連の共催で新春学習決起集会「社会保障と税の一体『改革』にどう立ち向かうか」が行われ、約100名が参加しました。

はじめに、年金生活者、消費者、中小業者から怒りの声が報告され、大門みきし参議院議員（日本共産党）が『「社会保障と税の一体改悪」阻止にむけて』と題して講演しました。最後に当面の行動提起も行われました。

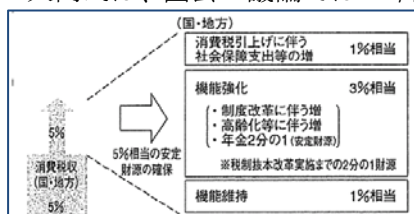
「食べていけない」「病院・商店がなくなり暮らしていけない」「赤字でも支払う消費税・業者が潰れています」

「怒りの声」では、大正生まれの夫婦で暮らす高齢者から、現在の年金は年額145万円（月額12万円）、暮らしが大変で「70年間吸い続けたタバコもやめた」。今後年金が2.5%下げられると3万7千円減、消費税が上がると合計7万円大変になる。「食べていけない」生活権を脅かすことになるかと切々と訴えました。

また、消費者を代表して新婦人から、全道で行った高齢者おしゃべり会では、暮らしが大変、街には病院、商店がなくなったなど切実な声が寄せられたと報告。中小業者からは、今でも、消費税を払えず廃業する業者もある。ある清掃業者は年収2500万円で330万円の赤字、それでも消費税は59万円支払わなくてはならない。社長の給与は事実上ゼロ。消費税は、中小業者にとっては、価格競争で消費税を転嫁できず、赤字でも支払う事業税と同じ。増税されたら多くの業者が潰れます。あきらめずに増税やめさせましようと呼びかけました。

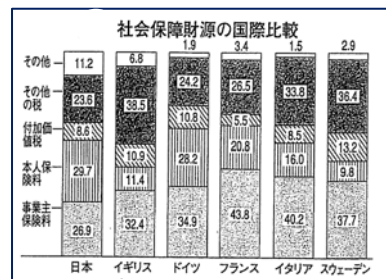
一体改革は「社会保障充実ではない」国会でも明らかに たたかい如何で消費税増税は阻止できる状況！

大門氏は、国会の議論では「今回の改革が社会保障をよくするものではないこと」を政府も認め決着が付いていると紹介。社会保障を改悪するとともに、「社会保障も財政赤字の要因（左図 機能維持）」として、他にも使おうとしていると説明しました。



消費税増税について「反対の世論が増えている」ことを紹介し、「これだけマスコミを使って消費税増税が必要だと宣伝しても反対が増えている。この背景には、消費税が5%に増税した時から、『消費税増税するな』とあきらめずに運動してきたことがあると指摘。今では、民主党の内部にも、自民党の内部にも反対の声が広がっている。竹中平蔵氏でさえ反対している」と紹介し、消費税増税阻止も可能な状況になっていると今後のたたかいの重要性を強調しました。

また、社会保障目的税についても触れ、少なくとも「消費税は20%」になる。ねらいは大企業の社会保険料負担軽減と法人税減税の財源捻りだしにあると指摘。社会保障財源の国際比較（右図）も紹介し、事業主保険料が少ないこと、付加価値税はすでに他国と余り変わらないことなどを説明しました。社会保障財源については、企業負担と応能負担で行うべきだと強調しました。



行動提起（一部）

- ・1万人の学習運動。音の出る宣伝を意志した全道宣伝。自治体決議運動など
- ・毎月24日を軸とした共同行動
（札幌は1月24日「国会召集日デモ」、2月24日の週は札幌地下歩行空間を利用した署名・FAX行動など）
- ・一体改革阻止、社会保障拡充を求めて、3月3日（土）午後1時30分～集会・パレード（自治労会館大ホール集合）

1.24 国会召集日デモ 暴走許さず、「構造改革」に終止符を！

1月24日（火）18時10分集合 大通西3丁目→すすきの解散

